

4 部活動

4.1 地学部

(1) 概要

34名の部員でSSH本体枠の活動、重点枠に関する活動を意欲的に行った。

(2) 活動内容

ア 学会・科学コンテスト・研究会での発表

- ・地球惑星科学連合2014大会高校生によるポスター発表（パシフィコ横浜）優秀賞
- ・天文高校生生まれ！口頭・ポスター発表（大阪教育大学）
- ・東海地区SSHフェスタ2014 ポスター発表（名城大学）優秀賞
- ・SSH生徒研究発表会 ポスター発表（パシフィコ横浜）
- ・日本哺乳類学会中高生ポスター発表（京都大学）
- ・星食共同観測研修会（本校） P 参照
- ・夜空の明るさに関する課題研究発表会（ハートピア安八） P 参照
- ・自然科学部交流会（名古屋大学）
- ・AITサイエンス大賞 口頭・ポスター発表（愛知工業大学）優秀賞（生物部と合同）
- ・科学三昧inあいち2014（岡崎カンファレンスセンター）ポスター発表
- ・高文連自然科学部研究発表会（名古屋市科学館）
- ・日本天文学会ジュニアセッション口頭・ポスター発表（大阪大学）



皆既月食進行の様子



1月20日のラブジョイ彗星(いずれも本校屋上にて)

イ 研究活動の内容・方法

皆既月食による地球本影内測光観測、いるか座新星の15ヶ月継続測光観測、明るくなったラブジョイ彗星の撮像等話題の現象の観測に加え、六甲山の夜空の明るさ調査を高砂市の小学生と連携して実施した。また、昨年度自作したプラネタリウムドームを利用してプラネタリウム番組一般公開の製作に取り組んだ。

東京大学木曾観測所KISS(超新星探査)に参加しているが、本校SSHに以前から参加している小学生がこのプログラムで超新星発見に寄与した(新聞記事参照)。この児童は地学部の活動に以前より参加しており、3年生始めで引退する生徒の活動期間を越えて観測・研究を続けている。

また、NHKBS番組「宇宙遺産100」に部員達が出演し、生徒撮影の天体写真も宇宙遺産の1つとして紹介された。

(3) 検証(成果と反省)

今年度も合宿や皆既月食観測では天候に恵まれ、多くのデータを得ることができた。科学コンテスト等でも高い評価をいただき、種々の活動が充実していた。研究テーマが多岐に渡り、顧問の指導が行き届いていない面もあるが、その分生徒自身が考えてまとめた結果を他人に伝えるという活動の中で、生徒の総合人間力を高めることに努めていきたい。